

第2学年 算数科学習指導案

日 時:令和7年2月7日(金) 13:30~14:15

会場、対象、指導者:2年1組 ABC コース21名(藤川 由起子)

2年2組 ABC コース21名(吉田 かおり)

1 単元名「分数」(5時間)

2 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目 標	等分してできる部分の大きさを、 分数を用いて表すことができる。 いろいろな分数の表し方とその意 味を理解することができる。	具体物を等分することによって、 様々な大きさの分数を考えるこ とができる。	分数の意味や表し方に興味をも ち、進んで活用しようとしている。
	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
A 規 準	もとの大きさを等分し、その1つ分 を分数で表すことができる。 いろいろな分数の表し方とその意 味を理解し、数についての理解を 深める。	具体物を様々な等分することによ って、分数の表し方や大きさを 考えている。	分数の表し方のよさに気づき、進ん で活用しようとしている。
B 規 準	等分された大きさを見て、分数で 表すことができる。 いろいろな分数の表し方とその意 味を理解している。	もとの大きさを何等分したのか をもとに、分数への表し方や大 きさを考える。	分数の表し方に興味をもち、大きさ を表すときに活用しようとしている。

3 単元について

(1)教材について

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)にて以下のように示されている。

第2学年 A 数と計算

(1)数の構成と表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア)同じような知識及び技能を身に付けること。

(イ)4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。

(ウ)数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。

(エ)一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関連付けてみること。

(オ)簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すこと。

(カ) $\frac{1}{2}$, $\frac{1}{3}$ など簡単な分数について知ること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

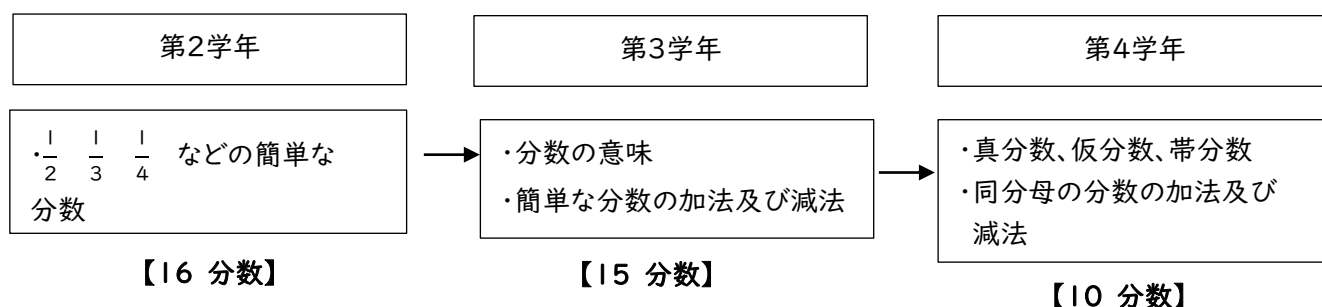
(ア) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすこと。

本単元では、分数や割合の指導の素地として、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ などの簡単な分数について学習する。これまでに「半分」や「半分の半分」などという言葉を用いたり、紙を半分に折る等の体験をしたりしている児童は多い。また、第2学年第10単元『長方形と正方形』では、長方形や正方形の紙を対角線で2つに切ったり、正方形の紙を2本の対角線で4つに切ったりする活動をしている。これらの生活体験や既習内容を基に、分けた大きさの表し方について考えていく。

授業では、紙を半分に折る操作活動を通して、同じ大きさに2つに分けた1つ分の大きさの表し方について、元の大きさを二分の一といい、 $\frac{1}{2}$ と書くことを知る。その際、分けた2つを重ね合わせて同じ大きさになっていることを確認したり、半分の大きさになっていないものを示したりすることで、「元の大きさの $\frac{1}{2}$ 」についての理解を深められるようにしたい。また、「元の大きさの $\frac{1}{2}$ 」を2つ集めると、元の大きさになることを確かめられる活動も取り入れ、元の大きさと分けた大きさの関係についても着目させていく。さらに、半分の大きさをまた半分にすると、同じ大きさに4つに分けるという操作に着目し、 $\frac{1}{2}$ の表し方を基に考えていけるようにしたい。 $\frac{1}{8}$ と $\frac{1}{3}$ についても同様である。また、おかしの数という分離量を同じ数に分ける場合を考え、分数の意味に着目すると「8この $\frac{1}{2}$ は、4こ」のように分離量を同じ数に分けることも分数で表せることを理解できるようにする。

本単元後半では、2つのテープの長さを比べることを通して、2つの数量の関係の表し方について、2つの数量の関係の表し方について、分数や倍を用いて表し、見方を変えてとらえていく。2つの数量の関係を倍を表すことについては、第2学年第12単元『かけ算(2)』の「ばいとかけ算」において、既に学習している。本単元では、2つのテープの長さを比べることを通して、2倍と $\frac{1}{2}$ 、4倍と $\frac{1}{4}$ などを関連付けてとらえられるようにしていく。

主な関連事項



(2) 児童の実態

今年度より、第2学年の児童も、少人数指導を実施している。レディネステストを基に、3つのグループに分けている。本学年の児童は、与えられた課題に対して前向きに取り組もうとする一方で、算数に苦手意識をもっている児童が多い。中には、「難しい」と感じると解くことをあきらめてしまう児童もいる。自信をもって授業に臨めるように、授業や家庭学習で、基礎基本の計算練習を繰り返し行い、計算力を高めるように努めてきた。2学期に学習した九九についても、習得するのに時間がかかる児童が多く、繰り返し練習を継続している。また、数学的活動で具体物を用いた活動を多く取り入れ、内容の理解を深めるようにしてきた。具体物を用いた活動については、積

極的に取り組むことができ、理解もスムーズである。しかし、具体物の操作と式が結びつかないことも多い。本単元でも数学的活動から理解を深めていく場面があるので、活動が理解に結び付くような工夫が必要である。授業の最後の振り返りでは、理解度を3段階で数字を使って評価させるところから始めた。最初は、数字のみ書く児童が多かったが、それに加えて、「分かったから楽しかった。」、「〇〇だということが分かったので、他の場面でも使ってみよう。」など、感想を書ける児童も増えてきた。また、「〇〇さんの考え方が分かりやすかった」など、友達の考えのよさに触れた感想も見られるようになった。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) 児童が楽しく取り組める問題提示や数学的活動の工夫

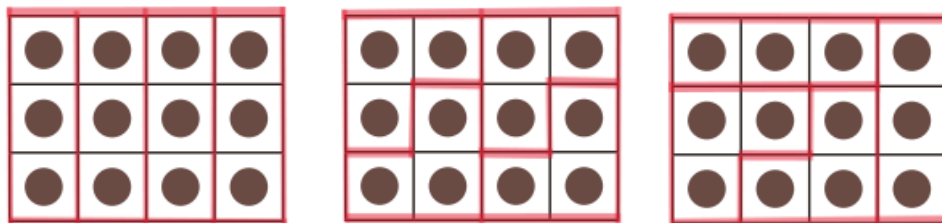
身近な事象から授業を導入し、分けられた大きさを比べる体験的な活動にすることで、児童が主体的に問題に取り組むことができる。

前時までの「分けられた一つ分の大きさ」の表し方の学習では、実際に折り紙を折って大きさを比べる操作活動を取り入れることで「分けられた一つ分の大きさ」を体感できるようにする。

また、第1時の $\frac{1}{2}$ の学習では1年時の「形づくり」や2年時の「三角形と四角形」の学習を、第2時の $\frac{1}{4}$ と学習では前時にあたる $\frac{1}{2}$ の学習を想起させる発問を行うことで、児童に学習課題を「難しい」ものではなく、「今まで習ったことを使えばできる」という思いをもたせられるようにする。本時でも「かけ算」の学習を想起させる発問を行い、既習事項を使って課題解決できるようにする。

(2) より良い方法の追究

本時の学習では、同じ分数を表す大きさでも、その分け方が多様にあることも取り上げる。例えば、12個を4等分して3つずつに分けたものを表す時にも、以下のように分け方が複数ある。



このように同じものの $\frac{1}{4}$ には、大きさは同じでも形が異なるものがあることに気付かせ、考えを広げさせたい。

(3) 振り返りの工夫

毎時間の振り返りで、授業内容を理解しながら楽しく学習ができているかを確認し、学習内容が定着するようにする。また、授業の中で児童が書いた振り返りを取り上げ、児童に以下の視点をもたせられるようにする。

- ・友達の考えのよさに気付く
- ・学んだことを次時の学習や、これからの生活に生かそうとする

5 単元の指導計画(全5時間)

時	ねらい	学 習 活 動	評価の観点と方法の例
(1) 分数			
1	・半分にした大きさを二分の一といい、 $\frac{1}{2}$ と書くことを理解する。	①同じ大きさを2つに分ける(半分)という操作に着目し、分けた1つ分の大きさの表し方について、元の大きさの二分の一、 $\frac{1}{2}$ と書くことを知る。	【知】半分に分けた1つ分を、元の大きさの二分の一といい、 $\frac{1}{2}$ と書くことを理解するとともに、紙を折って元の大きさの $\frac{1}{2}$ を作ることができる。(観察・ノート)
2	・四半分にした大きさを四分の一といい、 $\frac{1}{4}$ と書くことや、3つに等分した1つ分の大きさを三分の一といい、 $\frac{1}{3}$ と書くことを理解する。	①同じ大きさに4つ(8つ、3つ)に分けるという操作に着目し、分けた1つ分の大きさの表し方について考える。	【知】 $\frac{1}{4}$ や $\frac{1}{3}$ の意味や書き表し方を理解するとともに、紙を折って元の大きさの $\frac{1}{4}$ や $\frac{1}{3}$ を作ることができる。(観察・ノート)
3 (本時)	・分数の意味に着目して、分離量も等分することを分数で表せることを理解する。	①同じ数に分けることも分数で表せるか考える。	【思】等分することや分数の意味に着目して、分離量についても等分することを分数で表せるか考え、説明している。(観察・ノート)
(2) ばいと分数			
4	・2つの数量の関係に着目し、倍と分数の意味についてとらえることができる。	①2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえる。	【態】2つの数量の関係に着目し、倍や分数の意味についてとらえようとしている。(観察・ノート) 【思】2つの数量の関係に着目し、倍と分数の意味についてとらえている。(観察・ノート)

(3) まとめ			
5	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。	①数学的な見方・考え方を振り返る。	【知】基本的な問題を解決することができる。(観察・ノート) 【思】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。(観察・ノート) 【態】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。(観察・ノート)

6 本時の展開(本時 3/5時間)

(1) 本時の目標

分数の意味に着目して、分離量を等分することを分数で表せることを理解する。

	●児童の学習活動 T 教師の発問 ・児童の反応	◇指導の留意点 ◆主題にせまる手だて ◎評価【観点】(方法)
課題把握 5分	●前時の振り返りをする。 T (折り紙を使って) 同じ大きさに2つに分けた1つ分を、もとの大きさの何といいますか。($\frac{1}{4}$ も同様) C $\frac{1}{2}$ です。 T (テープを使って) 同じ大きさに8つに分けた1つ分を、もとの長さの何といいますか。($\frac{1}{3}$ も同様) C $\frac{1}{8}$ です。 T そうだね。 $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{8}$ のような数を、分数というんだったね。 では、今日も、分数の問題に挑戦してみよう。 ●問題を把握する。 T (チョコレートの写真を提示する。) 	◇これまでに学習した分数を、折り紙やテープを用いて確認する。 ◇振り返りの内容を児童に見えるように残し、自力解決の手がかりとできるようにする。 ◆児童の生活になじみ深いチョコレートの写真を使うことで、興味をもたせる。 ◆導入時において以下のよう

C 昨日はテープを分けたけど、今日はチョコレートだ。

T ○○さんは、昨日はテープの長さで考えたけど、今日はチョコレートの数で考えればいいことに、気付いたね。いいですね。

T 今日は、このチョコレートを、同じ数に分けましょう。

C 全部で8個あるね。

C 何人で分けるの？

T じゃあ、いろいろな人数で分けてみようか。

㊦ チョコレートを、○人で同じ数に分けよう。

自 ●自力解決をする。

力 T じゃあ、まずは2人で分けよう。同じ数に分けるよ。

解 C 1人4個ずつになる。

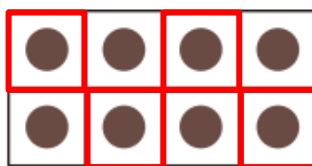
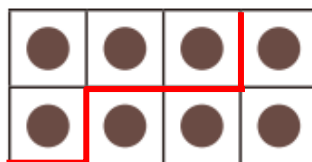
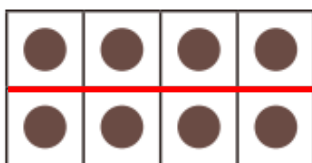
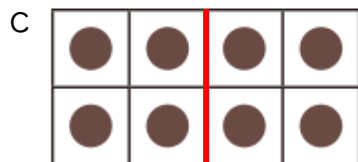
決 T どうやって分けたのかな？

5 チョコレートの代わりに、この図を使って分けてみましょう。

分 (図を配る。)

T どうやって分けたのかが分かるように、線を引いたり、丸で囲んだりしましょう。

T どうやって分けましたか？



C 違う分け方はできないかな。やってみよう。

T ○○さん、いくつも考えていいですね。

な学びに向かう姿を見つけ、
称賛し板書をすることで、他
の児童の学びに向かう姿を
促す。

【学びに向かう姿】

・既習の問題と解決する問題を
比べ、同じところや違うと
ころを見つける姿

【称賛の声かけの例】

T ○○さんは、昨日の問題
は、長さで考えたけど、今
日は数で考えればいいと
いうことに気付きました
ね。いいですね。

◆教師のペットを登場させるこ
とで、興味をもたせる。

◇実際に図を使って考えること
で、どの児童も自分の考え
が持てるようにする。

◆自力解決時において以下の
①②のような学びに向かう
姿を見つけ、称賛し板書する
ことで、他の児童の学びに
向かう姿を促す。

【学びに向かう姿】

①前時のノートを振り返り、既
習事項を生かそうとする姿

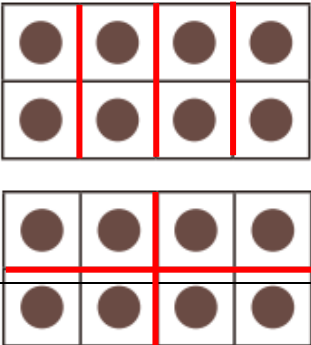
T チョコレートを2人で同じ数
に分けるとき、分数でも表せ
るか？

C この前のノートを見てみよ
う。

C 同じ大きさに分けるとき、分
数で表せたよね。

T ノートを振り返っていていい
ですね。

②1つの方法で答えを求める
ことができた後に考え続け

全体検討7分 自力解決3分	●全体で検討する。 T いろいろな分け方が出たけど、どうかな？ C 分け方は違うけど、半分こになっている。 C ○○さんの分け方もいいね。 C 1人4個ずつだね。 C 同じ数に分けられている。 T どの分け方も同じ数に分けられているから、けんかにならないね。 C ならない。 T (振り返りで使った折り紙を指さして) 同じ大きさに2つに分けた1つ分を $\frac{1}{2}$ って分数で表せたね。 (児童が分けたチョコレートの図を見せながら) チョコレートを2人で同じ数に分けたけど、分数で表せるかな？ C 分からない。 C 表せる。 T 分数で表せるときって、どんなときだっけ？ C 同じ大きさに分けたとき。 T 同じ大きさに分けたときだね。でも、このチョコレート、分けた形が違 うよ。それでも分数で表せるの？ C 形は違うけど、同じ数になっている。 T 形は違ってても、同じ数になっていれば大きさは同じなんだね。 同じ大きさに分けたときは、分数で表せたよね。いいことに気付いた ね。 T 8個を2人で同じ数に分けると、「8個の $\frac{1}{2}$ は4こ」と表すことが できます。みんなで言ってみよう。 C 8個の $\frac{1}{2}$ は4こ T (児童が分けた図を指しながら) 8個の $\frac{1}{2}$ は4こ T じゃあ、次は、4人で分けてみたいんだけど・・・ T 4人で同じ数に分けてみましょう。 T どんな風に分けましたか？ C 	る姿(他の形で分けることが できないか) T 1つできた人は、他の形でも 分けてみよう。 C こんな分け方もできそう。 C 違う分け方だけど、ちゃんと 2人で同じ数に分けられた よ。 ◇書画カメラを用いて児童の 手元を映し、どのように分け たのか分かるようにする。 ◇分けたことを意識できるよう に、板書用の図を、児童の説 明に合わせてハサミで切り 分けて確認する。 ◆全体検討時において以下 の①②のような学びに向か う姿を見つけ、称賛すること で、他の児童の学びに向か う姿を促す。 【学びに向かう姿】 ①友達の考えのよさを見つける 姿 C ○○さんの分け方には気付か なかった。この分け方もいい ね。 ②既習事項と結び付けようとす る姿 C 形は違うけど、同じ数に分け られているから、同じ大きさだ と思う。 C 同じ数も同じ大きさと同じ意 味だから、分数で表せそう。
-----------------------------	---	--

全体検討 2分 まとめ 3分 適用問題 17分	C 2個ずつだ。 T 4人で同じ数に分けるときの、同じように分数で言えるかな？ C 言える。 T どんな風に言えるの？ C 8個の $\frac{1}{4}$ は2こ T 4人で同じ数に分けても、やっぱり分数で表せるね。 ㊟ 同じ数に分けるときの、8個の $\frac{1}{2}$ は4このように、分数が使える。 ●適用問題に取り組む。 T じゃあ、次は、チョコレートの数を変えてみようかな。 C 増えた！ C 12個ある。 T まずは、2人分けようか。 C T どうかな？	◎等分することや分数の意味に着目して、分離量についても等分することを分数で表せるか考え、説明している。 【思】(観察・ノート) ◆同じ問題設定にして、数を増やすと次はどうなるのか興味をもたせる。 ◇他の分け方を思いついた児童には、もう1枚図を渡す。
---	---	--

C いろいろな分け方がある。

C 分けた形が違う。

C どれも6個ずつになっている。

T 数が増えたけど、分数で表せる？

C できる！

T どんな言い方になるかな？さっきは、8個の $\frac{1}{4}$ は2こだったけど、今度は12個だよ。

C 12個の $\frac{1}{2}$ は6こ

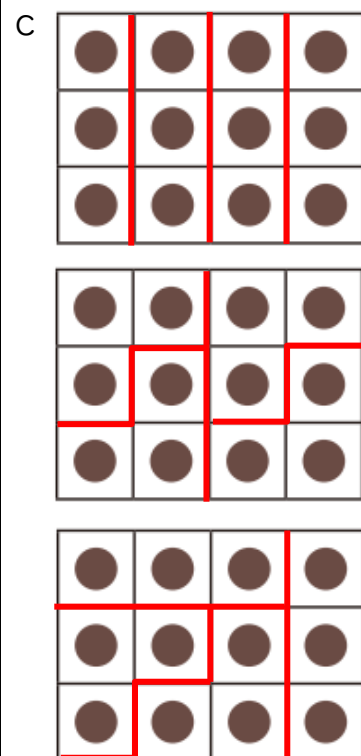
T そうだね。12個のチョコレートを2人で同じ数に分けたら6個だった。だから、8個の $\frac{1}{4}$ は2こという言い方でいいね。

T さっき学習したことを、使えているね。

T 次は何人で分けようかな。

C 4人

T やってみよう。



T 形は違うけど、同じ数に分けたから、分数で表せるね。どんな風に言えるかな？

C 12個の $\frac{1}{4}$ は3こ

T そうだね。12個のチョコレートを4人で同じ数に分けたら3個にな

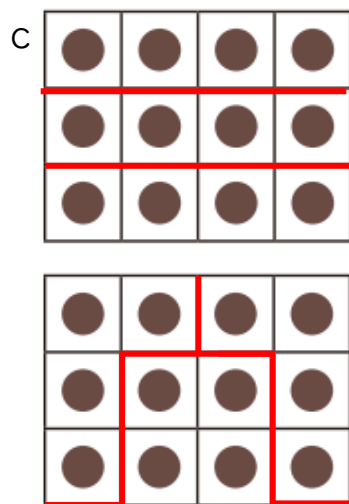
る。だから、12個の $\frac{1}{4}$ は3こだね。

T 3人でも同じ数に分けられるかな？

C できそう。

C 3人で分けるから $\frac{1}{3}$ だね。

C 1人4個ずつ。



T 分数で表してみましょう。

C 12個の $\frac{1}{3}$ は4こ

T もうばっちりだね。

●今日の学習を振り返る。

T 今日の学習を振り返りましょう。今日のめあては、「チョコレートと同じ数に分けよう」でした。図を使って同じ数に分けられたかどうか。同じ数に分けたとき、分数で表せたかどうか。321で評価しましょう。

T 前に学習したことを使って考えられた人は、花丸も書きましょう。

T 書ける人は、今日の学習で分かったことやできたこと、もっと知りたいことを、言葉で書きましょう。

C チョコレートを分けるときも、分数で表せることが分かった。

C 分ける形が違っていても、数が同じだったら分数で表せることが分かった。

C いろいろなものを分けて、分数で表してみたい。

◎分数の「等分する」という考えを用いて、分離量を等分することも、分数で表せることを理解している。【知】（観察・ノート）

◇本時のめあてについて、達成度を3・2・1の3段階で自己評価させる。書ける児童には、言葉で感想も書かせる。既習事項を使えた児童には、花丸もつけさせる。

◆振り返る時に以下の①②のような学びに向かう姿を見つけ、称賛することで、他の児童の学びに向かう姿を促す。

【学びに向かう姿】

①わかったことを振り返り、既習事項と関連付けたり、次の問題を発見したりする姿

C長さの時と同じように考えた

振り返り3分

		ら、個数も分数で表せることが分かった。他の数にも分けてみたい。 ②日常生活でも活用しようとする姿 C 今日学習したことを家でもやってみたいな。 【称賛の声かけの例】 T 前に学んだことを使って問題を考えることができてすばらしいですね。
--	--	--

(2) 板書計画

④ チョコレートを○人で同じ数で分けよう。

① 8こ

＜2人で＞

＜4人で＞

8この $\frac{1}{2}$ は4こ 8この $\frac{1}{4}$ は2こ

形はちがうけど同じ数
大きさ ⇒ 分数◎

② 12こ

＜2人で＞

＜4人で＞

＜3人で＞

12この $\frac{1}{2}$ は6こ 12この $\frac{1}{4}$ は3こ 12この $\frac{1}{3}$ は4こ

③ 同じ数に分けるときも「8この $\frac{1}{2}$ は4こ」のように、分数であらわせる。

⑤ 3・2・1 ◎

座席表

